

STOP！熱中症

～みんなで防ごう熱中症～

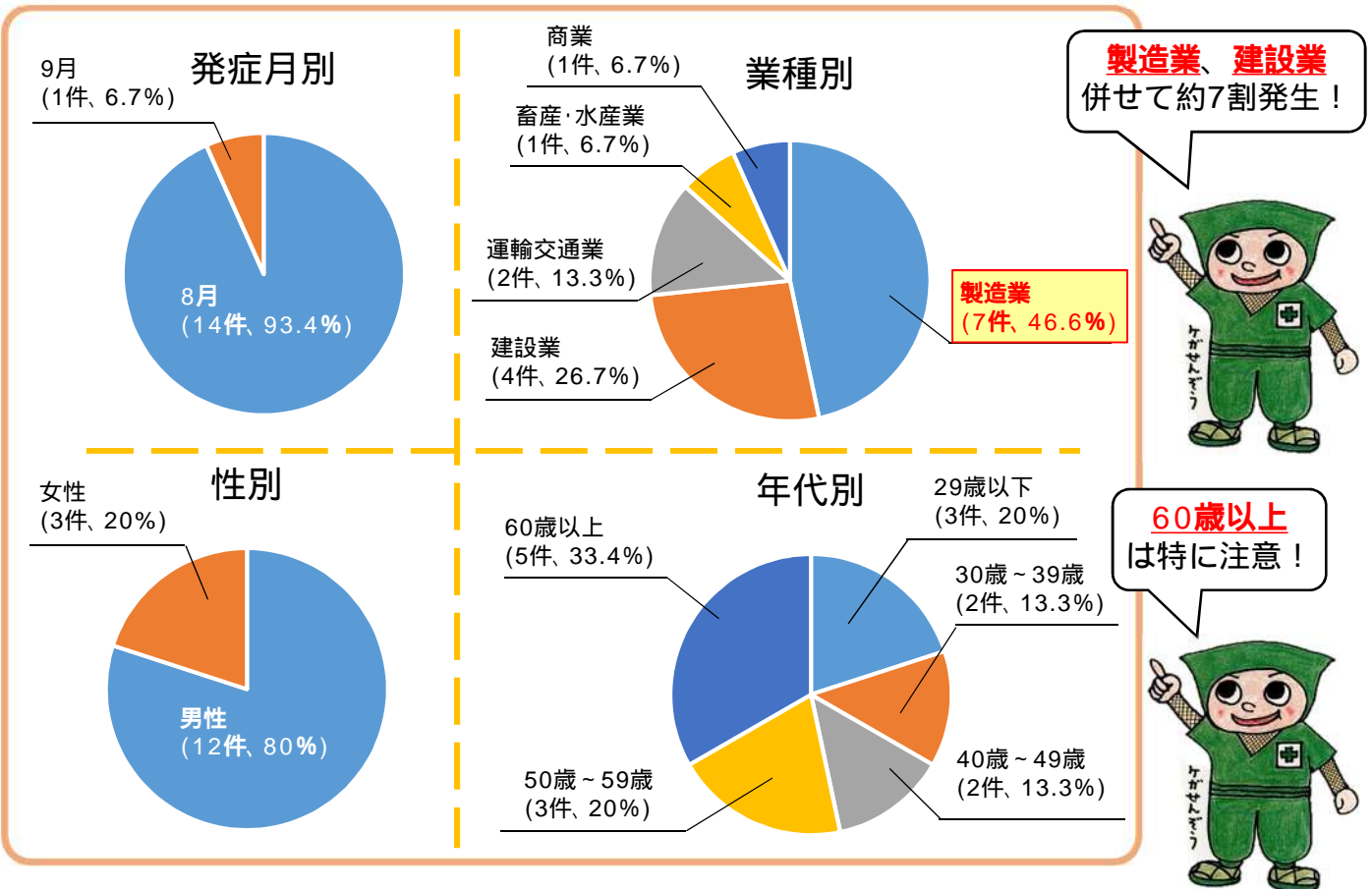
クールワークキャンペーン

取組期間：5月1日～9月30日

三重県内では、令和2年に職場における熱中症により、**10人が4日以上休業**しています。令和2年に伊賀労働基準監督署管内においても、熱中症による休業が発生しています。

事業場にて夏季を中心に「**令和3年 STOP！クールワークキャンペーン**」を展開し、熱中症の予防に取り組みましょう！

1. 令和2年 伊賀労働基準監督署管内における熱中症発生状況






伊賀労働基準監督署管内の熱中症発生状況と傾向

- ・発症月別では、**8月に15件中14件発生**。
- ・業種別では、**製造業が7件**、次いで**建設業が4件**発生。
全体で約7割がこれら2つの業種で発生。**製造業での発生が約5割**を占める。
- ・年代別では、**60歳以上が5件**と最多。
高齢であるほど発生件数が多い傾向にあるが、30歳未満でも3件発生。

2. クールワークキャンペーン期間（5月1日～9月30日）

確実に実施できているか確認し、 にチェックを入れましょう！

- STEP1 **衛生管理者**などを中心に、事業場の**管理体制を整え、熱中症予防管理者**を選任しましょう。
- STEP2 WBGT値を把握するためにJIS規格(JIS Z 8504又はJIS B 7922)に適合した機器を準備し、WBGT値を測定しましょう。
- STEP3 測定したWBGT値に応じて次の対策を取りましょう。

WBGT値を下げるための設備の設置	<ul style="list-style-type: none"> 簡易な屋根の設置、冷房やミストシャワーなどによりWBGT値を下げる方策をとりましょう。 	
休憩場所の整備	<ul style="list-style-type: none"> 休憩場所には飲料水や塩飴などを設置しましょう。 	
通気性の良い服装など	<ul style="list-style-type: none"> 通気性の良い作業服や身体を冷却する機能をもつ服なども着用しましょう。 	
作業時間の短縮	WBGT値が高い際は、 単独作業を控え、WBGT値に応じて作業の中止、こまめな休憩をとる などの工夫をしましょう。	
熱への順化	暑さに慣れるまでの間は 十分に休憩をとり、1週間程度かけて徐々に身体を慣ら しましょう。特に 入職直後 や 夏季休暇明け は注意が必要です！	
水分・塩分の摂取	定期的(1時間に1回程度)に水分・塩分 を取りましょう。	
プレクーリング	保冷剤等による体表面の冷却や冷水等の摂取による体内からの冷却(プレクーリング)を行いましょう。	
健康診断結果に基づく措置	糖尿病、高血圧症、心疾患、腎不全、精神・神経関係の疾患、広範囲の皮膚疾患、感冒、下痢 などがあると熱中症にかかりやすくなります。	
日常の健康管理など	前日の深酒、寝不足 など管理者は作業員の体調を確認しましょう。	
労働者の健康状態の確認	<ul style="list-style-type: none"> 管理者だけでなく、作業員同士でもお互いの健康状態をよく確認しましょう。 作業開始前、休憩時、作業終了時の体温、脈拍、発汗状態等を確認しましょう。 	朝食を食べよう！

STEP4 熱中症予防管理者等はWBGT値を確認し、巡視などにより、次の事項を確認しましょう。

WBGT値の低減対策の実施状況
各労働者の体調確認
体温、脈拍、発汗状態等
各労働者の水分や塩分の摂取状況

異常時の措置～少しでも異常を感じたら～

- ・いったん作業を離れる
- ・病院へ運ぶ、または救急車を呼ぶ
- ・病院へ運ぶまでは一人きりにしない



○感染症対策との両立で下記事項を確認しましょう。

休憩室の分散使用
換気による冷房効果の低下を考慮した対策

○熱中症を疑わせる症状が出たら

涼しい場所で身体を冷やす 水分・塩分の摂取

***密にならない状況に配慮した上で、感染防止用のマスクを外**しましょう。

三重労働局熱中症予防対策特設ページ
(リーフレット等ダウンロード先)

